

私たちのごみはどこへ行くの？

ごみステーションや拠点回収施設に出せば、いつの間にか回収されているごみ。いったい私たちが出したごみはどのような経路をたどって処理されているのでしょうか。ごみの行方を追ってみました。

埋め立て

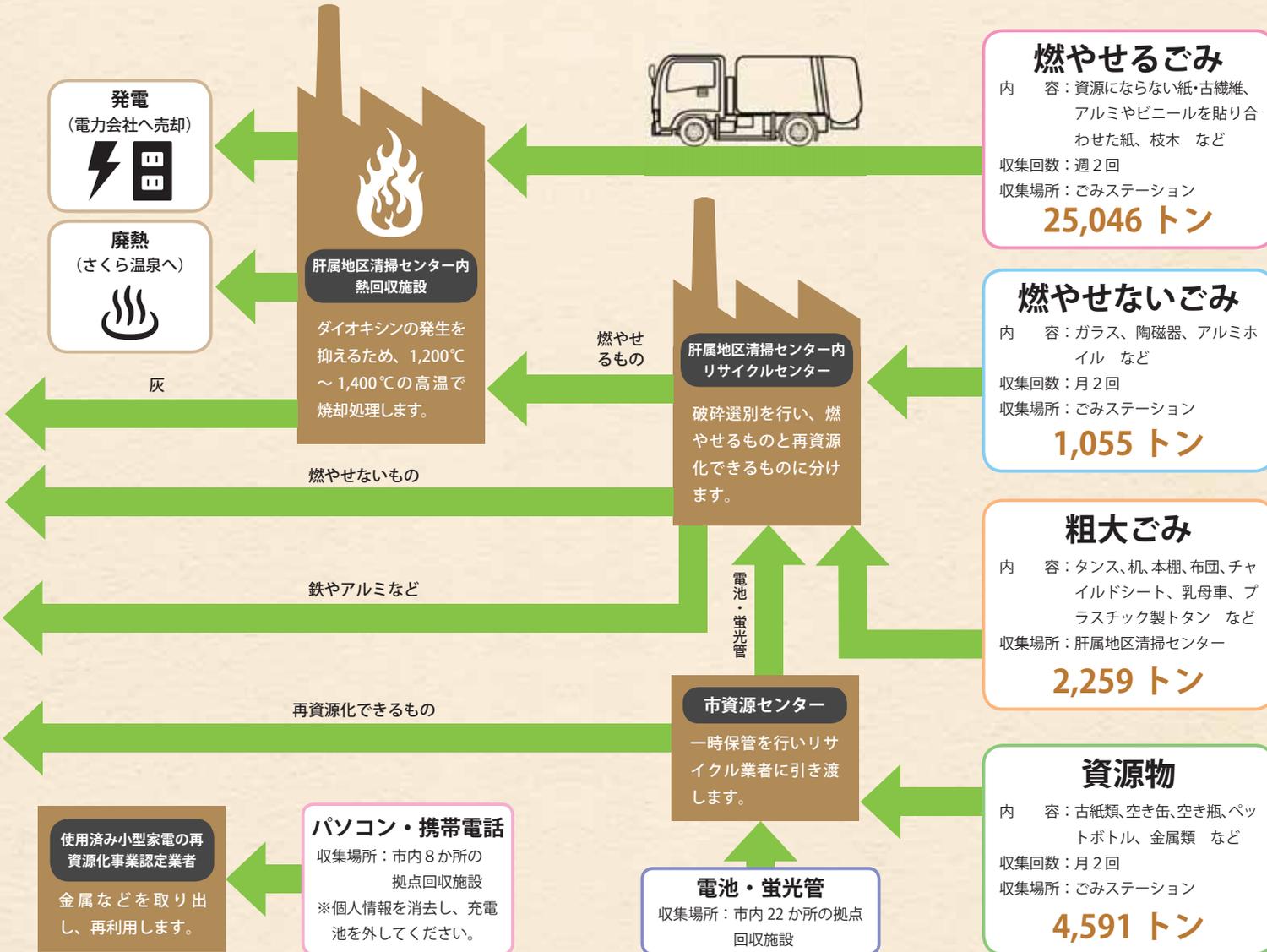


燃やせるごみを焼却した灰や燃やせないものは錦江町田代の「肝属地区大根田最終処分場」に埋め立てられます。試算では、ここに埋め立てることができるのはあと約9年。少しでも長く利用できるようにごみの分別やリサイクルを徹底する必要があります。

リサイクル

分別収集された資源物は、各リサイクル業者に売り渡し、種類ごとのリサイクルルートにより再生利用され、新しい製品に生まれ変わります。また、資源物をリサイクル業者に売り払った収入は、ごみの処理経費に充てています。

古紙類⇒新聞紙、トイレットペーパー
空き瓶⇒再利用又は路面材など
空き缶⇒鉄鋼原材料、アルミ製品
使用済み小型家電⇒レアメタル



燃やせるごみ

内容：資源にならない紙・古繊維、アルミやビニールを貼り合わせた紙、枝木 など
収集回数：週2回
収集場所：ごみステーション
25,046 トン

燃やせないごみ

内容：ガラス、陶磁器、アルミホイル など
収集回数：月2回
収集場所：ごみステーション
1,055 トン

粗大ごみ

内容：タンス、机、本棚、布団、チャイルドシート、乳母車、プラスチック製トタン など
収集場所：肝属地区清掃センター
2,259 トン

資源物

内容：古紙類、空き缶、空き瓶、ペットボトル、金属類 など
収集回数：月2回
収集場所：ごみステーション
4,591 トン

※数字は平成27年度のごみ排出量

ペットボトルはこうして生まれ変わる!!



普段何気なく飲んでるペットボトルもリサイクルされ意外な製品に生まれ変わっています。その意外な製品とは!?